

友の会視察研修旅行のお知らせ

【神奈川県立生命の星・地球博物館】

今年度の視察研修旅行は、神奈川県小田原市にある「神奈川県立生命の星・地球博物館」です。展示では地球誕生のそのときから、環境問題の叫ばれる現代まで、46億年の長い歴史をわかりやすく解説しています。館内は電子データベ-

スやミュージアムシアターを完備。映像資料を用い、より詳しく生き物について知ることができます。開催日は、11月18日(日)です。募集案内は後日お知らせいたします。定員は45名を予定しています。応募者多数の場合は、抽選とさせていただきます。

これからの友の会イベント

【秋のキノコを観察しよう!】

■日時
9月23日(日)
10:00~12:00

■場所
妙義青少年自然の家周辺



■内容:秋の味覚として知られている代表的なキノコとしては、言わずと知れた高級キノコ「マツタケ」があげられます。野菜や、その他の多くの食べ物と同じように、キノコの世界でも秋は実りの季節であり、最も多くのキノコが発生します。今年は秋の山に出かけて、秋のキノコを観察し、季節の訪れを肌で感じてみませんか? ※詳しくは、後日お知らせします。

友の会入会のお知らせ

- 年会費
- ①一般会員.....3,000円
 - ②高・大学生.....2,000円
 - ③小・中学生.....1,000円
 - ④家族会員.....5,000円
 - ⑤賛助会員(1口).....10,000円

★10月以降の入会は、年会費が半額になります。
★入会されますと、博物館入館料が無料になるなど、多数の特典があります。

賛助会員(7月末現在)

以下、法人、個人の方に趣旨賛同いただきました。ありがとうございました。

(株)三栄商事・(株)新井商会・佐藤春利・(株)群馬小型運送・柚木 郁・(有)山田会計・(株)高崎冶金工業・(有)松井会計・(有)市川会計事務所・大塚きぬ江・(株)カロラータ

編集後記

冬の豪雪、夏の猛暑、集中豪雨、異常気象とも呼ばれるこうした現象は、健康被害、大災害とセットで私達を翻弄します。今年7月、西日本を襲った集中豪雨による被害はひどいものでした。被災された方々のニュースを見る毎に胸が痛みます。

こうした異常気象の中で自然界の動植物・生きもの達はどのようにしているのでしょうか。小さな蝶や草花など、私達人間以外の生きものにも、心と目を向けていけたらいいですね。こうした生きもの達の調査、保護活動などに励んでいらっしゃる方々にも。(大塚きぬ江)

友の会通信

2018
Vol.
39

～群馬県立自然史博物館友の会～

第1回
友の会
体験活動

「下仁田ジオパークに いってみよう」

平成30年6月3日(日)

総勢16名、菅原久誠先生案内の下、「蒔田不動の滝」からスタートしました。2億7千万年前のペルム紀の石英閃緑岩の高い壁を落ちる滝にしばし見入ってから、不動尊庭にある数本の石灯籠の、設置年代毎の材質や形の彫り出し方の変遷なども観察しました。

次の「青岩公園」では、菅原先生が、見学前に海底火山での溶岩の噴出動画を見せて下さり、「この状態がこの岩の成因です」と、青岩の素となったものをはっきりと印象付けて下さいました。つい迷いがちだった変成作用を受ける前のこの岩石の種類を一度で覚えることができました。ハイアロクラスタイト(水砕岩)の層も教わりました。また、隣にある鷹ノ巣城跡に因み、武田家西上野侵攻年表をいただき、ここに信玄が現れた時のことなども想像しました。

最後はここから下仁田駅まで街のたたずまいを観ながらの散策です。先生の解説で、このコンパクトな街に、飲食店、旅館、薬局、ピリヤード迄含めた遊興場等の数が意外に多いことに気づき、西野牧鉞山や中小坂鉄山その他色々な資源も含む大地の特性が暮らしや文化等にもおおいに関係をもたらし、それに伴う人々の集いがあったという、地質学の宝庫のみに留まらないジオパークとしての下仁田の在り方を、改めて教えて頂きました。これをきっかけにこの町をまたひとつ違った角度から感じられるようになりそうです。

(三友賢一)



参加者の声

●いつも楽しく参加させていただいています。自然と人との関わりをいろいろな方面から観察できて楽しい時間を過ごすことができました。(倉金秀行)

- いつも車で素通りしている場所ですが、小さな通りを歩いてみると面白い発見がたくさんありました。とても面白かったです。(倉金由起子)
- 地質、岩石だけでなく人の文化、交流を知ることができてとても勉強になりました。下仁田を見る目が変わりました。(倉金正幸)
- 地質の簡単な話からマニアックな話までとても楽しく学ぶことができました。石の階段や石垣も、石野種類を見れば作られた当時のことや作った人の性格まで分かるのはすごいと思いました。普段何気なく歩いている道もそれをふまえて見てみたいと思います。(倉金香菜子)
- 蒔田不動滝には初めて来ました。複雑な地質に太古の地殻変動の力を感じました。(神屋和雄)
- 下仁田のことが知れてよかったです。知らない虫も知ることができてよかったです。(狩野利江)
- 娘が通っている学校の授業で下仁田ジオパークへ行行った話を聞いたので行ってみたいと思っていた所にこの体験ができてよかったです。(和田真由美)
- 滝が冷たかった。山イチゴがおいしかった。(和田朋哉)
- 自然にふれることができ、いい運動になりました。見たことがない虫も見ることができたのでよかったです。(和田百愛)

平成30年
5月6日(日)

平成30年度「友の会総会」開催

平成30年度の友の会の総会が5月6日(日)午前10時から博物館学習室で行われ、17名の参加がありました。総会では柚木会長、宮川館長の挨拶に引き続き、昨年度の事業報告及び決算報告、今年度の事業案並びに予算案について審議しました。慎重審議の上、全ての議案が承認されました。

今年度も様々な体験活動を予定しており、会員同士の親交が深められればと思います。会員皆さまの積極的な参加をお待ちしております。

会長あいさつ「前向きに生きること」

会長 柚木 郁



柚木郁 会長

今年の梅雨明けは異常に早く、その後は連日猛暑、記録尽くめの夏です。冷房のきいた部屋で過ごすだけでは老化が進むばかりです。興味を膨らませ、頭を働かせ物事に挑戦することです。友の会の活動も、その一助になると思います。何事にも前向きに生きることが自立心を育て自己向上につながるのです。

今年も自然史博物館を支援し、会員の資質向上を図りながら、県民に親しまれる博物館を目指していきたいと思ひます。

平成30年度友の会役員紹介

《平成30年度の役員・事務局》

- 【会 長】 柚木 郁
- 【副 会 長】 新井開三九・櫻井 昭寛
- 【運営委員】 三友 賢一・北爪 二郎・伊丹 清美・佐藤真由美・大塚きぬ江
- 【事務局】 田中 享・月田 典寿・石川 直紀
- 【監 事】 松井 則幸・瀬下 保
- 【顧問】 原 浩一郎・川原 英雄



友の会講演会

友の会総会後に当館長谷川名誉館長を講師に迎え、友の会講演会を行いました。今回は、「沖縄県南部港川人遺跡のトリ・カメ・哺乳動物相の特質」のテーマでご講演いただきました。約2万年前の沖縄に存在していたとされる港川人についてのお話しやそこに生息していたイノシシについて島嶼化のお話しを資料をもとに、研究者としての視点に立ちながらわかりやすく講演していただきました。また、実物化石なども間近で見せていただきながら、参加者一人ひとりの質問にも丁寧にお答えいただきました。



長谷川名誉館長



講演会の様子

私が見つけた自然

「オオセイボウ」

春の昆虫を探しながらの散歩中、ヒメジョオンの花畑に突然飛来したオオセイボウ、慌ててシャッターを切りました。

2018年6月2日 午前11時 前橋市田口町にて
(平方邦夫)



「マツモムシ」

庭に池を作ったら、マツモムシがいました。メダカが食べられると困るので、つかまえようとしたら、どこかへ行ってしまいました。

(江原朔玖)



「ササクレヒトヨタケ」

きりたんぽみたいでおいしそうなキノコだと思いました。博物館の伊藤智史先生にキノコの名前を教えてくださいました。

(野口結菜)



私が見つけた自然 募集中

自分の身の周りで、かわいらしい自然を見つけたとき、珍しい自然と出会ったとき、その瞬間をカメラで記録し、写真とその時のエピソードを添えて自然史博物館の友の会へ封書またはメール(事務局アドレス:tsukida@gmnh.pref.gunma.jp)でお送り下さい。

会員同士、すてきな自然の情報交換の場になればと考えています。
なお、応募していただいた方にすてきな賞品をプレゼントします。